

7月のGlobal Sessionのお知らせ

期日：2024年7月21日(日)10:30~12:00

場所：ガレリア3階 会議室

ゲスト：レイチェル・クラークさん（アメリカ在住・国連などで通訳も）

タイトル：

「情報戦で武器化されるメディアと、読者・視聴者としてのメディアリテラシー」

参加費：600円

参加人数：10名ほど

要申し込み：児嶋きよみまで

要項：

「1991年にインターネットが使われ始めてから、IT分野における言語の中心である英語が「情報言語」となりました。

世界の多言語の中で、「英語」という言語媒体を通じて入手できる情報に触れることができる人と、英語以外の母国語のみで入手できる情報量に大きな格差が生じています。

英語以外の母国語の中でも、アルファベット以外の文字を使う言語、特に「日本語」が、どれほどこの問題に晒されているかを知る人は少ないようです。メディア関係者の中でもそうなので、一般の読者や視聴者は完全に「グローバルな世論コントロール」の餌食になっています。この事実気づく人が少しずつではありますが、最近増えてきているようで

す。

7月に皆さんにお目にかかる時に、この情報格差の存在や歴史的背景とそのメカニズムを解説し、80年前の「新戦の基礎確立、ガダルカナルより転身」「戦略戦微動もせず」と伝えていた大日本帝国の頃から全く進化していない現代の報道のあり方を解説します。

「ロシアは前菜、中国はメインディッシュ」という風に米国・西側の「戦争ムラ」の軸足が徐々にアジアにシフトしている中で、「ロシア・北朝鮮・中国・米国という四つの核保有国に囲まれている日本は核武装すべきだ」という論調が当然の如く語られていることに、私は非常に強い危機感を感じています。

台風の経路や黄砂の予想天気図を普段見ている、台湾付近で核兵器が使用されたら、その放射性微粒子が日本列島全体を覆うことは容易に予想できるはずで

他にも日本の原子力そのものが、核兵器の役割を担っていることなど、世間一般ではタブー視されている問題にも今回のメディアのテーマとの関連で、時間が許す範囲で言及できれば、と思います。」